

そのはづやといてきかしたことはない
 このたびわかみがをもてへあらはれて
 このところやまとのぢばあのかみがたと
 このもとをくわしくきいたことならば
 きゝたくばたづねくるならゆてきかす
 かみがててななにかいさいをとくならば
 いちれつにはやくたすけをいそぐから
 てんりをのみこと

しらぬがむりてわないわいな
 なにかあいさいをときゝかす
 いううてへいれどももとしらぬ
 いいかなものでもこらしなる
 よろづういさいのもとなるを
 せかいゝちれついさむなり
 せかいのうこゝろもいさめかけ

一 下 目

一 二 二
 六⁷ 〇
 二 二 ●
 三 三
 二 二
 三 三
 五 五
 三 三
 五 五
 五 五
 六 六
 七⁵ 〇
 三 三
 二 二
 二 二
 六⁷ 〇
 二 二
 三 三
 二 二
 六 六
 〇
 二 二 ●

二 イイに 二 二 ●
 六 六
 七 七
 二 二
 三 三
 五 五
 三 三
 五 五
 六 六
 七⁵ 〇
 三 三
 二 二
 二 二
 六⁷ 〇
 二 二
 三 三
 〇
 二 二
 六 六
 〇
 二 二 ●

三 アんにさんさい 二 二 ●
 六 六
 七 七
 二 二
 三 三
 五 五
 三 三
 六 六
 〇
 二 二
 六 六
 〇
 二 二 ●

四 ヲをつよのなかア五つツ 二 二 ●
 六 六
 七 七
 二 二
 三 三
 五 五
 三 三
 〇
 二 二
 六 六
 〇
 二 二 ●

六 ウうつむしよりにでけまわす 二 二 ●
 六 六
 七 七
 二 二
 三 三
 五 五
 三 三
 〇
 二 二
 六 六
 〇
 二 二 ●

七 (二五) ●
 ア ● 七六 ●
 な ● 一七 ●
 ア ● 一七 ●
 つ ● 二二 ●
 な ● 六六 ●
 に ● 七七 ●
 か ● 二二 ●
 に ● 三三 ●
 イ ● 五五 ●
 つ ● 三三 ●
 くり ● 五二 ●
 とる ● 六六 ●
 っ ● (七五) ●
 なら ● (三三) ●
 ら ● 二二 ○ ●
 ア ● 三三 ●

八 (二五) ●
 ア ● 五八 ●
 あ ● 六七 ●
 つ ● 一七 ●
 や ● 二二 ●
 ま ● 六六 ●
 と ● 七七 ●
 は ● 二二 ●
 ほう ● 三三 ●
 ね ● 二二 ●
 ん ● 六六 ○ ●
 や ● 一六 ●

こ ● 七五 ●
 の ● 三 ●
 つ ● 三 ●
 こ ● 一三 ●
 こ ● 三 ●
 こ ● 二 ●
 ま ● 二七 ●
 で ● 七二 ●
 つ ● 七二 ●
 い ● 七三 ○ ●
 て ● 二二 ●
 こ ● 三 ●
 い ● 三 ●

十 ● 五五 ●
 を ● 三三 ●
 ど ● 五二 ●
 と ● 五五 ●
 り ● 六六 ●
 め ● 七五 ●
 が ● 三三 ●
 さ ● 二二 ●
 だ ● 三三 ●
 ま ● 二二 ●
 り ● 六二 ○ ●
 た ● 一六 ●

て ● 三三 ●
 ん ● 一三 ●
 り ● 二二 ●
 お ● 二二 ●
 ふ ● 六六 ●
 の ● 七二 ●
 み ● 二二 ●
 こ ● 一三 ●
 と ● 三三 ●
 て ● 三三 ●
 ん ● 一三 ●
 り ● 二二 ●
 お ● 二二 ●
 ふ ● 六六 ●
 の ● 七二 ○ ●
 み ● 二二 ○ ●
 こ ● 一三 ●
 と ● 一三 ●

二下リ目

と ● 二二 ●
 と ● 三三 ●
 と ● 一三 ●
 と ● 二二 ●
 ん ● 三三 ●
 と ● 五五 ●
 と ● 三三 ●
 と ● 五二 ●
 と ● 五五 ●
 し ● 六六 ●
 よ ● 七五 ●
 う ● 三三 ●
 が ● 三三 ●
 つ ● 二二 ●
 う ● 三三 ●

を ● 一三 ○ ●
 ど ● 五八 ●
 り ● 六七 ●
 は ● 一七 ●
 は ● 七 ●
 じ ● 二二 ●
 め ● 六六 ●
 は ● 七七 ●
 は ● 二二 ●
 や ● 二二 ●
 れ ● 一七 ●
 お ● 六六 ●
 も ● 二二 ●
 し ● 三三 ●
 ろ ● 二二 ●
 い ● 六六 ○ ●
 い ● 一六 ●

二 二⁵ 七⁶ 一⁷ ●
 う た つ 二² 六⁶ ●
 ふ し 七⁷ 二² ●
 ぎ な 三³ ●
 七⁵ 五⁵ ●
 ふ し 三³ 二² ●
 ん か 五⁵ 六⁶ ●
 か 七⁵ ●
 三³ ●
 れ 二² ●
 ば や 二² ●
 七⁷ 六⁶ ●
 れ に 二² ●
 ぎ わ 三³ ●
 し 二² ●
 や 六⁶ ●
 一¹ 六⁶ ●

三 二⁵ 七⁶ ●
 イ い つ 一¹ 七⁷ ●
 み 二² 六⁶ ●
 につ 七⁷ 二² ○
 く ウ 三³ ●
 四 五⁵ ●
 を つ 三³ ●
 よ な 五⁵ ●
 七⁵ 六⁶ ●
 ほ り 三³ ●
 二² ○
 イ 三³ ●

五 二⁵ 五⁶ ●
 イ つ 六⁶ ●
 ツ 一¹ 七⁷ ●
 い 二² 六⁶ ●
 づ れ 七⁷ 二² ●
 も つ 二² ●
 ウ 六⁶ ●
 き 二² ●
 くる 三³ ●
 な 二² ●
 ら 六⁶ ●
 ば 一¹ 六⁶ ●

六 二⁵ 七⁶ ●
 ウ う つ 一¹ 七⁷ ●
 む 二² 六⁶ ●
 ほん 七⁷ 二² ●
 の 二² ●
 ね 三³ ●
 え 二² ●
 を 六⁶ ●
 き 一¹ 六⁶ ●

七 二⁵ 七⁶ ●
 な つ 一¹ 七⁷ ●
 二² 六⁶ ●
 ん 七⁷ 二² ●
 じう 三³ ●
 を 五⁵ ●
 す 三³ ●
 く 五⁵ ●
 ひ 六⁶ ●
 あ 七⁵ ●
 ぐ 三³ ●
 れ 二² ●
 ば 三³ ●
 ア 三³ ●

八 二⁵ 五⁶ ●
 ア あ つ 六⁶ ●
 一¹ 七⁷ ●
 つ 七⁷ ●
 や 二² 六⁶ ●
 ま 六⁶ ●
 ひ 七⁷ 二² ●
 の 二² ●
 ね 三³ ●
 え 二² ●
 を 六⁶ ●
 き 一¹ 六⁶ ●

九 七⁵ ●
 つ 一¹ 三³ ●
 二² ●
 こ 二² ●
 こ 七⁷ ●
 ろ 二² ●
 を 三³ ●
 オ 三³ ●
 さ 五⁵ ●
 だ 三³ ●
 め 五⁵ ●
 ろ 六⁶ ●
 よ 七⁵ ●
 一¹ 三³ ●
 な 二² ○
 ら 三³ ●
 ア 三³ ●

十 二⁵ 五⁶ ●
 ラ を 六⁶ ●
 で 一¹ 七⁷ ●
 と 七⁷ ●
 こ 二² ●
 ろ 六⁶ ●
 の 七⁷ ●
 お 二² ●
 と 三³ ●
 ま 二² ●
 り 六⁶ ●
 や 一¹ 六⁶ ●

てんりわうのみこと ●三三
 ●一三
 ●二二
 ●六六
 ●七二
 ●二三
 ●一三
 てんりわうのみこと ●三三
 ●一三
 ●二二
 ●六六
 ●七三
 ●二二
 ●一三

(大鼓は前節と同じ)

三下り目

一 ●二五
 つ ●六⁷₆ ●
 ひ ●五五 ●
 の ●六六 ●
 も ●(七⁵_三) ●
 と ●二 ●
 し ●三 ●
 や ●二 ●
 し ●六六 ○ ●
 き ●一六 ●
 の ●七⁵_二 ●
 つ ●七六 ●
 と ●一七 ●
 め ●一七 ●
 の ●二 ●
 ば ●六六 ●
 し ●七七 ●
 ょう ●二 ●
 は ●二 ●
 よ ●三 ●
 の ●二 ●
 も ●六六 ○ ●
 と ●一六 ● ●
 や ●

二 ●二
 つ ●六⁷₆ ● ●
 ふ ●五 ●
 し ●三 ●
 ぎ ●二 ●
 な ●三 ●
 ア ●五 ●
 つ ●三 ●
 と ●五 ●
 め ●五 ●
 ば ●六 ●
 し ●(七⁵_三) ●
 ょう ●二 ● ○ ●
 は ●三 ● ●
 ア ●七⁵_二 ●
 た ●五 ●
 れ ●六 ●
 に ●一 ●
 た ●二 ●
 の ●六 ●
 み ●七 ●
 は ●二 ●
 か ●三 ●
 け ●二 ●
 ぬ ●六 ● ○ ●
 ど ●一 ● ●
 も ●

三 ●二
 つ ●六⁷₆ ● ●
 み ●五 ●
 な ●三 ●
 せ ●五 ●
 かい ●六 ●
 が ●(七⁵_三) ●
 よ ●二 ●
 り ●三 ●
 あ ●二 ●
 ふ ●六 ● ○ ●
 て ●一 ● ●
 け ●七⁵_二 ●
 た ●一 ●
 ち ●一 ●
 き ●二 ●
 たる ●六 ●
 が ●七 ●
 こ ●二 ●
 れ ●三 ●
 ふ ●二 ●
 し ●六 ● ○ ●
 ぎ ●一 ● ●

四 ●二
 つ ●六⁷₆ ● ●
 よ ●五 ●
 う ●三 ●
 よ ●五 ●
 う ●五 ●
 こ ●六 ●
 こ ●(七⁵_三) ●
 ま ●二 ●
 で ●三 ●
 つ ●二 ●
 い ●二 ●
 て ●六 ● ○ ●
 き ●一 ● ●
 た ●(七⁵_二) ●
 じ ●一 ● ●
 つ ●一 ● ●
 の ●二 ●
 た ●六 ●
 す ●七 ●
 け ●二 ●
 は ●二 ●
 こ ●三 ●
 れ ●二 ●
 か ●六 ● ○ ●
 ら ●一 ● ●

五 ●二
 つ ●六⁷₆ ● ●
 い ●五 ●
 つ ●三 ●
 も ●五 ●
 わ ●五 ●
 ら ●六 ●
 わ ●(七⁵_三) ●
 れ ●二 ●
 そ ●三 ●
 し ●六 ● ○ ●
 ら ●一 ● ●
 れ ●(七⁵_二) ●
 て ●七 ● ●
 め ●一 ● ●
 づ ●一 ● ●
 ら ●一 ● ●
 した ●二 ●
 す ●六 ●
 け ●七 ●
 を ●二 ●
 す ●三 ●
 ぼ ●二 ●
 る ●六 ● ○ ●
 ど ●一 ● ●
 に ●一 ● ●

六 ●二
 つ ●六⁷₆ ● ●
 む ●五 ●
 り ●三 ●
 な ●五 ●
 な ●五 ●
 ぬ ●六 ●
 が ●(七⁵_三) ●
 ひ ●二 ●
 は ●三 ●
 して ●二 ●
 く ●六 ● ○ ●
 れ ●一 ● ●
 な ●(七⁵_二) ●
 ひ ●七 ● ●
 と ●一 ● ●
 す ●一 ● ●
 ぎ ●二 ●
 こ ●六 ●
 こ ●七 ●
 ろ ●二 ●
 な ●二 ●
 り ●三 ●
 て ●二 ●
 こ ●六 ● ○ ●
 い ●一 ● ●

てんりわうのみこと ● 三三
 ● 一三
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七二
 ● 二三
 ● 一三
 てんりわうのみこと ● 三三
 ● 一三
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七三
 ● 二二
 ● 一三

(大段は前節と同じ)

三下り目

一つひのもとしよやしきのつとめのばしよはよのもとや ● 二五
 ● 六六⁷⁶
 ● 五五
 ● (七三⁵³)
 ● 二
 ● 三
 ● 二
 ● 六六〇
 ● 一六
 ● 二五
 ● 七六
 ● 一七
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

二つふしぎなアつとめばしよはアたアれにたのみはかけねども ● 二二
 ● 六六⁷⁶
 ● 〇
 ● 五二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 三三
 ● 五五
 ● 三三
 ● 五二
 ● 五五
 ● 六六
 ● (七三⁵³)
 ● 二二〇
 ● 三三
 ● 二五
 ● 五五
 ● 六六
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

三つみなせかいがよりあふてでけたちきたるがこれふしぎ ● 二二
 ● 六六⁷⁶
 ● 五二
 ● 三三
 ● 五五
 ● 六六
 ● (七三⁵³)
 ● 二二
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六
 ● 二五
 ● 二六
 ● 一七
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

四つようようこゝまでついてきたじつのたすけはこれからや ● 二二
 ● 六六⁷⁶
 ● 五五
 ● 三三
 ● 五二
 ● 五五
 ● 六六
 ● (七三⁵³)
 ● 二二
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六
 ● (二七⁵⁷)
 ● 一七
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

五ついつもあらわれそしられてめづらしたすけをすぼるどに ● 二二
 ● 六六⁷⁶
 ● 五五
 ● 三三
 ● 五二
 ● 五五
 ● 六六
 ● (七三⁵³)
 ● 二二
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六
 ● (二五⁵⁵)
 ● 七六
 ● 一七
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

六つむりなぬがひはしてくれなひとすぢこゝろになりてこい ● 二二
 ● 六六⁷⁶
 ● 五五
 ● 三三
 ● 五二
 ● 五五
 ● 六六
 ● (七三⁵³)
 ● 二二
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六
 ● (二五⁵⁵)
 ● 七六
 ● 一七
 ● 一七
 ● 二二
 ● 六六
 ● 七七
 ● 二二
 ● 三三
 ● 二二
 ● 六六〇
 ● 一六

七つ^二なんでも^七これ^六から^七ひと^三と^五す^六ぢに^二か^三み^六にも^七た^二れて^三ゆ^六き^七ます^二る^六

八つ^二や^六む^七ほ^三ど^五つ^六ら^七ア^三い^五こ^七とは^二ない^三わ^六しも^七これ^二から^六ひ^七の^二き^三しん^六

九つ^二こ^七こ^六まで^三し^五ん^七じん^六した^三けれ^五ども^七の^二か^三み^六とは^七し^二ら^三なん^六だ^七

十^五を^三ど^五この^七だ^六び^三あら^五は^七れた^二じ^三つ^六の^七か^二み^三に^六は^七さ^二り^三る^六ない^七

て^三ん^三り^三わ^三う^三の^三み^三こ^三と^三
て^三ん^三り^三わ^三う^三の^三み^三こ^三と^三

以下略と同様に付録を省く、但し自前の便宜上お歌全首を掲げ、特に平の體も所を記せり。

四下り目

- 一つひとがなにごといはうとも かみがみてゐるきをしずめ
- 二つふたりのこゝろををさめいよ なにかのこともあらはれる
- 三つみなみていよそばなもの かあみのうすることなすことを
- 四つよるひるとんちやんつとめする そうばもうやかましうたてかる
- 五ついつもたすけがせくからに はあやくうよをきになりてこら

六つむらかたはやくにたすけたい なあれどうころがわからいで
 七つなにかよろづのたすけあい むうねのううちよりしあんせよ
 八つやまひのすつきりねはぬける ころはあだんぐいさみくる
 九つこゝはこのよのごくらくや わあしもうはやくまゐりたい
 とをどこのたびむねのうち すみきりいしましたがありがたい
 てんりをのみこと てんりをのみこと

五 下り目

一つひろいせかいのうちなれば たすけるうところがまゝあろう
 二つふしぎなたすけはこのところ おゝびやあはうそのゆるしだす
 三つみづとかみとはおなじこと ころのうよこれをおらひきる
 四つよくのなれものなれども かあみのうまへにはよくはなら

五つらつまてしんじんしたとて やううまらびくめてあるほどた
 六つむごいころをうちわすれ やさしまらころたなりてこら
 七つなんでもなんぎはさゝぬぞへ たあすけえいちじよのこのところ
 八つやまとばかりやないほどに くにぐにいまてへもたすけゆく
 九つこゝはこのよのものぢば めづらしところあらはれた

七^ろノ^ろニ^ろ三^ろ五^ろ六^ろ七^ろ三^ろニ^ろニ^ろ三^ろニ^ろ六^ろ六^ろノ^ろ
 どうでもしんじんするならば かうをむすばやないかいな

てんりをのみこと てんりをのみこと

六 下り目

一いつひとのころといふものは うたがいゝおかあいのなるぞ
 二いつしごなたすけをするからた いかなるうことをもみさだめる

- 三つみなせかいのむねのうち
 四つようこそつとめについできた
 五ついつもかぐらやてをどりや
 六つむしようをやたらにねがいでる
 七つなんぼしんぐくしたとても
 八つやつぱりしんぐくせにやならん
 九つこゝまでしんぐくしてからは
 とうどこのたびみえました
- かゝみのうごとくにうつるなり
 こうれがあたすけのもとだてや
 すゑてはあめづらしたすけする
 うけとるうすぢいもせんすぢや
 こゝろえゝちがいはならんぞへ
 こゝろえゝちがいはてなほしや
 ひとつのうこうををみにやならぬ
 あふぎのううからひこれふしぎ
- てんりをのみこと てんりをのみこと

七下り目

- 一つひとことはなしはひのきしん
 二つふかいこゝろがあるなれば
 三つみなせかいのこゝろには
 四つよきぢがあらあばいぢれつに
 五ついづれのかたあもおなじこと
 六つむりにどうせといはんでな
 七つなんでもてんぢがほしいから
 八つやしきはかみいのでんぢやて
 九つこゝはこのよのでんぢなら
 とうどこのたびいぢれつに
 たねをまいたるそのかたは
 てんりをのみこと てんりをのみこと
- にほいゝばかりをかけておく
 たあれもうとめるてないほどに
 てんぢのういらあぬものはない
 たあれもうほしいてあろうがな
 わあしもうあのぢをもとめたい
 そをこはあめいゝのむねしだい
 あたへはあなにほどいとても
 まいたるうたねへはみなはへる
 わあしもうしつかりたねをまこ
 ようこそうたねへをまきにきた
 こうえををおかずにつくりとり

八 下 目

- ・一つひろいせかいやくになかに
- 二つふしぎなふしんをするなれど
- 三つみなだん／＼とせかいから
- 四つよくのこゝろをうちわすれ
- 五ついつまでみあわせいたるとも
- 六つむしやうをやたらにせきこむな
- 七つなにかこゝろがすんだなら
- 八つやまのなかへとிரりこんで
- 九つこのまきろうかあのいしと
- とうどこのたびいちれつに
- いゝしもうたちきもないかいな
- たあれにいたのみはかけんでな
- よりきたあことならてけてくる
- とをくとうこゝろをさだめかけ
- うちからあするのやないほどに
- むうねのううちよりしあんせよ
- はあやくうふしんにとりかゝれ
- いゝしもうたちきもみておいた
- おもへどうかみいのむねしだい
- すみきりいましたがむねのうち

てんり花のみこと てんりをのみこと

九 下 目

- 一つひろいせかいをうちまわり
- 二つふじゆうなきよにしてやらう
- 三つみればせかいのこゝろには
- 四つよくがあるならやめてくれ
- 五ついづれのかたあもをなじこと
- 六つむりにてようとうゆうでない
- 七つなか／＼このたびいちれつに
- 八つやまのなかでもあちこちと
- 九つこゝでつとめをしていれど
- いつせん／＼にせんてたすけゆく
- かあみのうこゝろにもたれつけ
- よをくがあまじりてあるほどに
- かあみのううけとりてけんから
- しいあんさんさだめてついでこい
- こうこううさだめのつくまでは
- しつかりいしあんをせにやならん
- てんんりいわうをゝのつとめする
- むうのねのをわかりたものはない

とてもかみなをよびだせば

はあやくうこもとへたづねてよ

てんりをのみこと

てんりをのみこと

十下り目

一しひとのころとゆうものは

ちよとたいわからんものなるぞ

二しふしぎなたすけをしていれど

あらはれへてるのがいまはじめ

三しみづのなかなるこのどろろ

はあやくういだしてもらいた

四じよくにきりなりどろみづや

こうこうすみきれごくらくや

五ついつくまでへもこのことわ

はなしのうたねへになるほどに

六つむごいことばをだしたるも

はあやくうたすけをいそぐから

七つなむぎするのころから

わあがみいうらみであるほどに

八つやまひはつらあいのなれど

もうとををしりたるものはない

九つこのたびまでへはいちれつに

やまひのうもとをわしれなんだ
やまひのうもとをわころから

とうどこのたびあらわれた

てんりをのみこと

てんりをのみこと

十一下り目

一しひのもとしよやしきの

かあみのうやかたのぢばさだめ

二しふうふそつうてひのきしん

こうれがあだいちちものだねや

三つみればせかいがだんくと

もををこうたのをてひのきしん

四つよくをわすれてひのきしん

こうれがあだいちちこえとなる

五ついついつまでへもつちもちやまッだあるッならあばわしもゆこ
二七〇
二六五
三三二
三五七
六六三
七三三
二二二
三三三
二二二
六六六
七七七
七六六
二二二
二二二
二二二
三三三
二二二
二二二
二二二
二二二

昭和四年七月廿六日印刷
昭和四年七月廿六日發行

奈良縣山邊郡丹波市町大字三島八〇

發行兼編輯者 天理教々會本部雅樂部

右代表者

喜多秀太郎

奈良縣山邊郡丹波市町大字川原城三〇九

印刷所 天理教々廳印刷所

右代表者 植田五郎

天理教